

2026年8月20日

2026年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第9回 8月下旬分)

香川県水産試験場 環境・資源研究課 (植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は、前年を上回ったものの、平年は下回った。

前年	2025年8月15日	(7点の平均)	1.5 個/m ³
前回	2026年8月4日	(7点の平均)	14.4 個/m ³
今回	2026年8月14日	(7点の平均)	6.6 個/m ³
※8月下旬の平年値			13.6 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は、前年を上回ったものの、平年は下回った。

前年	2025年8月15日	(7点の平均)	0.0 尾/m ³
前回	2026年8月4日	(7点の平均)	2.0 尾/m ³
今回	2026年8月14日	(7点の平均)	1.7 尾/m ³
※8月下旬の平年値			3.3 尾/m ³

○プランクトン調査

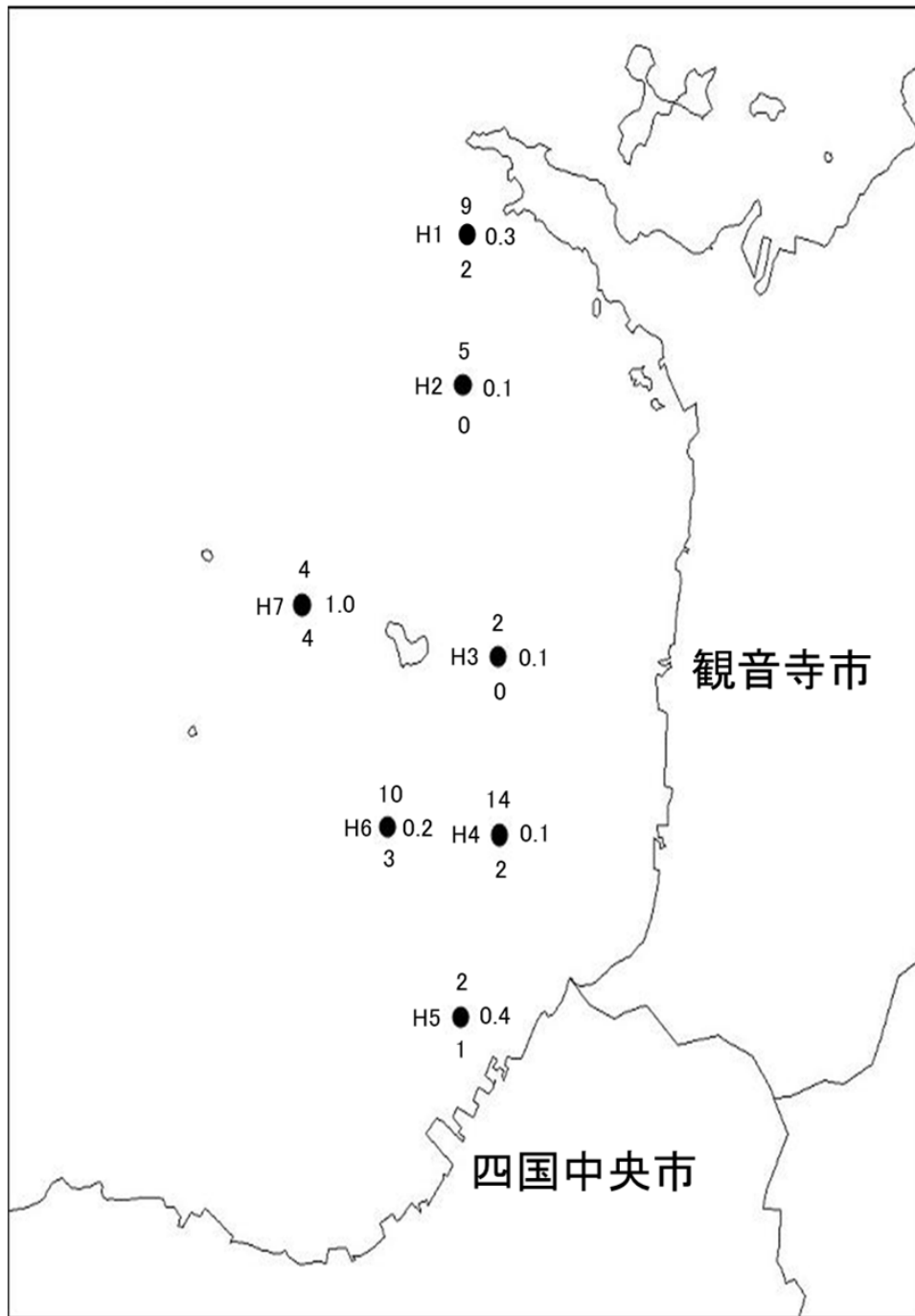
カタクチイワシの主要な餌であるカイアシ類量は、平年をわずかに下回った。

○カブトクラゲ調査

カタクチイワシの餌料競合種であるカブトクラゲ量は、平年を上回った。

次回の調査は8月26日(水)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2026/8/14)



●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を,
下側がカタクチイワシ稚魚密度(稚魚数/m³)を,
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類の
おおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵密度
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類
密度
5 ← 稚魚密度

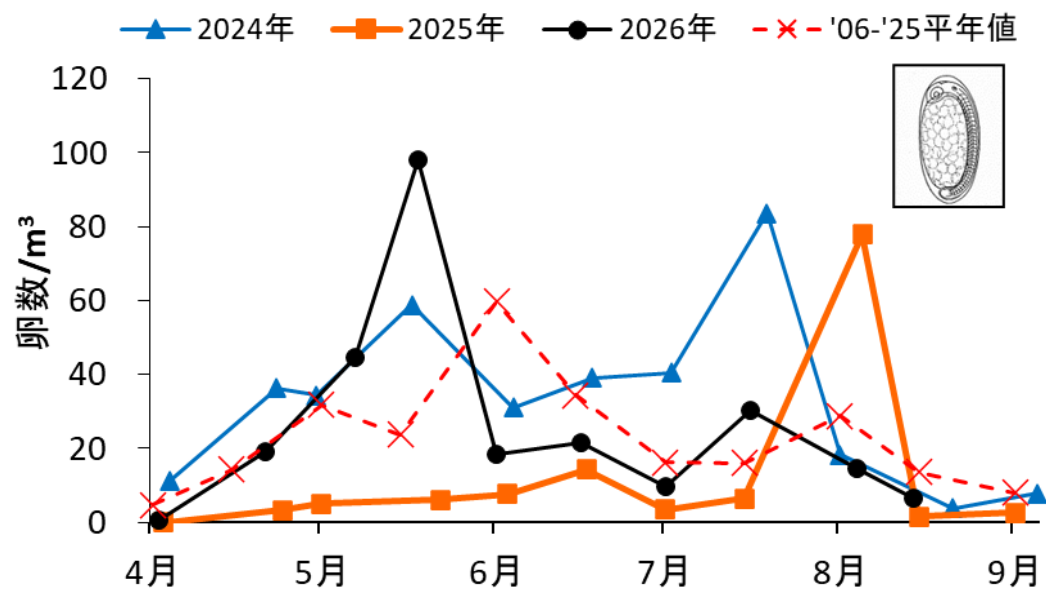


図. カタクチイワシ卵数の推移

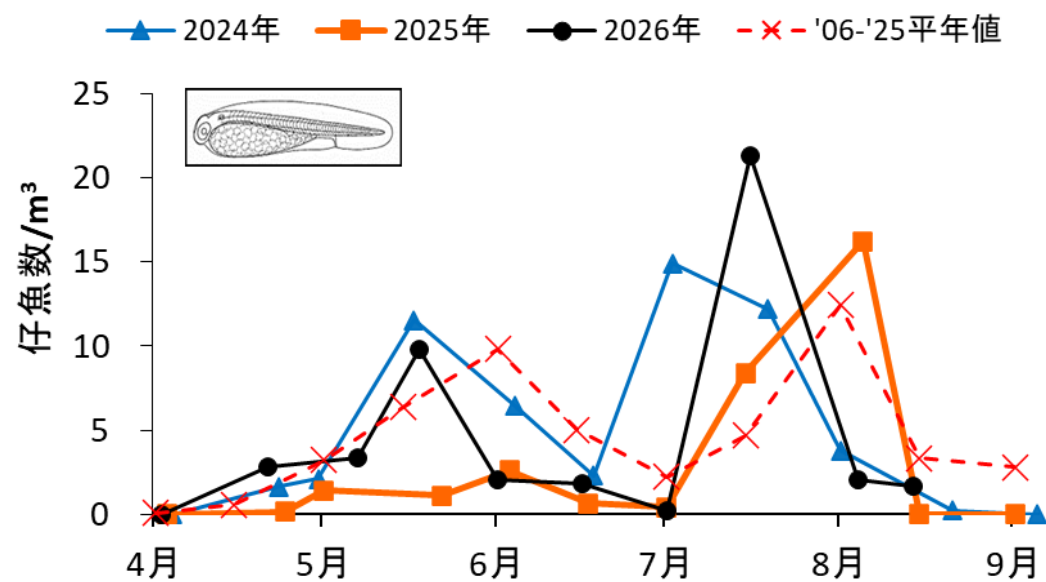


図. カタクチイワシ仔魚数の推移

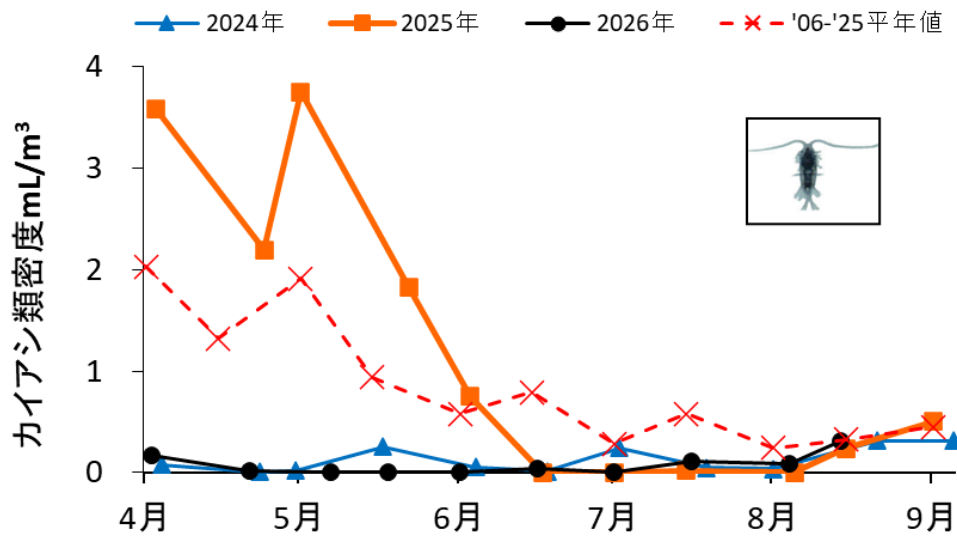


図. カイアシ類量の推移

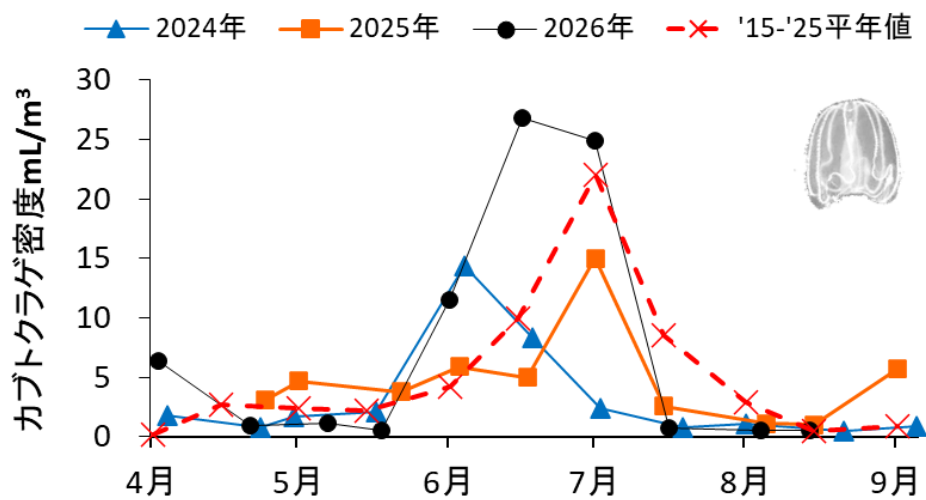


図. カブトクラゲ量の推移

※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2026 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(9回目)

調査日: 2026/8/14

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (℃)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	28.1	24	0	11	5	0	2
H2	20	28.2	16	0	0	0	0	1
H3	20	28.4	5	0	1	0	0	0
H4	20	28.3	37	0	1	6	0	0
H5	20	28.0	6	0	0	3	0	3
H6	20	28.4	25	0	0	8	0	0
H7	20	27.6	12	0	0	10	0	0
平均		28.1	18	0	2	5	0	1

※卵稚仔数は採集数を示す。